

この事件を知らずして、ノモンハン事件は語れない

カンチャーズ 乾岔子島事件史

——一九三七年の日ソ紛争——

笠原孝太〔著〕

謎の日ソ紛争が今、明らかに

張鼓峰事件やノモンハン事件よりも前に起き、最初の対ソ大規模国境紛争であった乾岔子島事件。両事件に注目した研究が多数発表されて来た一方で、乾岔子島事件に注目した研究は少なく、部分的な論考を除いて全体的な研究は停滞していた。しかし、乾岔子島事件は、その後の日ソ紛争に多大な影響を与えており、日本軍にとってはノモンハン事件の起点ともいべき紛争である。

本書では、多くの史料・文献を丁寧に検証することにより乾岔子島事件の全貌を明らかにする。



定価：本体3,400円（税別）
令和7年3月発行
A5判・上製・カバー装・224頁
ISBN978-4-7646-0357-8



目次抄

- 序章
- 一 事件の概要
 - 二 検討課題と本書の構成
 - 三 史料・文献
- 第一章 乾岔子島と黒龍江
- 一 乾岔子島と金阿穆河島
 - 二 河川国境としての黒龍江
- 第二章 乾岔子島事件の歴史
- 一 水路会議と満ソ水路協定の成立
 - 二 第一次・第二次共同技術委員会
 - 三 ポヤルコワ水道封鎖と満ソ水路協定破棄
 - 四 事件前のソ連の外交的抗議
- 第三章 乾岔子島事件の経緯
- 一 乾岔子島事件の勃発
 - 二 乾岔子島奪回作戦
 - 三 ソ連砲艇の撃沈
 - 四 兵力の撤収と事件の終結
- 第四章 外交交渉
- 一 事件勃発後の交渉
 - 二 ソ連砲艇撃沈後の交渉
- 第五章 ノモンハン事件への影響
- 一 関東軍の国境紛争武力処理思想の萌芽
 - 二 「満ソ」国境紛争処理要綱」と独断専行
- 終章
- 一 報道からみえるもの
 - 二 事件の影響
- 索引（人名索引・事項索引・地名索引）

【ご注文・お問い合わせ】

錦正社

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544-6
電話 03(5261)2891 FAX03(5261)2892

新刊情報・書籍の詳細はホームページを御覧下さい。
<https://kinseisha.jp/>



書店様番線

注文数

カンチャーズ

乾岔子島事件史

冊

定価：本体 3,400 円（税別） ISBN978-4-7646-0357-8

お名前

〒
ご住所

お電話

注文書